

福祉や教育など、市政運営の基本となる一般会計予算の昨年度の執行見込みと、市債、基金の状況をお知らせします。最終的な予算の執行の内容は、本誌12月号に掲載する予定です。

## 予算

収入・支出の見積りのこと。年度開始前にあらかじめ定められた予算を当初予算、その後必要に応じて修正するものを補正予算と呼び、両者に繰越額を合わせたものを最終予算といいます。

**1 当初予算**  
7,762億円

### 前年度比0.5%の減

地方交付税などの収入が減少する一方、生活保護費など削減しづらい支出が増加するなど、厳しい財政状況が続いています。収入・支出を全体的に見直した結果、当初予算の規模は前年度に比べて減少しました。

**2 補正予算**  
404億円

### 地域経済対策や生活対策関連などに予算を追加

昨今の急激な景気後退を受けた地域経済対策や生活対策のほか、不足する見通しとなった生活保護費、道路・街路・学校の防災対策などに、404億円の予算を追加しました。

#### 主な補正予算項目

地域経済対策や生活対策	315億円
生活保護費	33億円
道路・街路・学校の防災対策	10億円

**3 前年度からの繰越額**  
58億円

**1 + 2 + 3 =**

**最終予算8,224億円**  
(前年度比4.2%増)

### ■ 一般会計の主な歳入・歳出の執行見込み

区分	最終予算額	執行見込み額
主な歳入	市税	2,833億円 2,821億円 (148,603円)
	国庫支出金	1,554億円 1,230億円
	諸収入	1,138億円 1,038億円
	地方交付税	1,006億円 1,009億円
市債	553億円 485億円 (25,549円)	
主な歳出	保健福祉費	2,285億円 2,232億円
	職員費	1,036億円 1,036億円
	公債費	1,017億円 994億円
	諸支出金	1,007億円 960億円
	経済費	862億円 789億円
	土木費	827億円 758億円

※( )は市民一人当たりの金額。執行見込み額を平成21年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)1,898,348人で除して算出

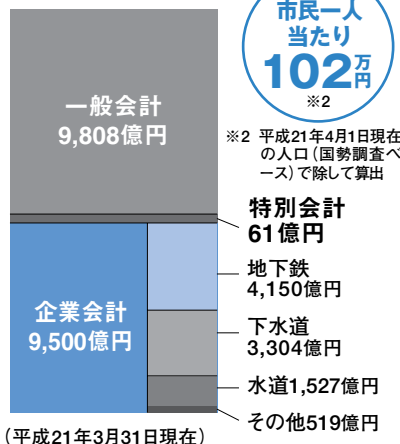
## 市債

公共施設などを造るためのもので、施設を使う次の世代にも公平に費用を負担してもらうための借入金

残高 **1兆9,369億円** ※1

今後の返済に備えて資金の積み立てをするなど、計画的な返済に努めているほか、新たな借入れをできる限り抑えており、市債の残高は平成15年度末の2兆1,892億円をピークに毎年減少。今後も引き続き減少していく見込みです。なお、一時借入金(年度途中の一次的な資金不足を補うための借入れ)の残高については、一般・企業・特別の各会計ともありません。

※1 借金返済のために積み立てている貯金を差し引いた額



## 基金

特定の目的のために積み立てた資金

残高 **2,397億円**

区分	現在高
減債基金	1,182億円
土地開発基金	722億円
まちづくり推進基金	165億円
財政調整基金	144億円
その他基金	184億円
合計	2,397億円

(平成21年3月31日現在)